

# 健幸いわた21重点課題 目標進捗状況

資料1-1

◎目標達成・○中間評価より改善・▲中間評価より悪化

健幸いわた21目標(一部抜粋)	中間評価(H28)	進捗(R2)	目標(R5)	評価
<b>&lt;総合的成果を図る指標&gt;</b>				
第2号被保険者の要介護認定率の増加の抑制	0.33%	0.33%	<b>0.38%</b>	◎
お達者な人の割合の増加	(H27)92.2%	92.9%	<b>92.7%</b>	◎
<b>&lt;取り組み成果を図る指標&gt;</b>				
低栄養傾向の高齢者の割合の減少	23.30%	22.39%	<b>23.30%</b>	◎
高血圧Ⅱ度(160/100mmHg)の者の割合の減少	3.1%	4.5%	<b>2.8%</b>	▲
LDLコレステロール180mg/dl以上の者の割合の減少	5.0%	5.4%	<b>4.9%</b>	▲
HbA1c(NGSP値)8.4%以上の者の割合の減少	0.64%	0.72%	<b>0.62%</b>	▲
肥満者(BMI25以上)の割合の減少	男24.6%	男27.00%	<b>男21.9%</b>	▲
	女18.3%	女20.00%	<b>女16.20%</b>	▲
睡眠で休養が取れている者の増加	男79.50%	男81.21%	<b>男81.30%</b>	○
	女72.40%	女75.24%	<b>女75.40%</b>	○
21時前に寝る子どもの割合の増加(3歳児健診)	54.7%	49.3%	<b>60%</b>	▲
毎食野菜をとる人の割合の増加	高校2年生 25.7%	17.3%(参考値)	<b>35%</b>	▲
日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合の増加	男48.3%	男49.79%	<b>男52%</b>	○
	女48%	女44.92%	<b>女50%</b>	▲

## 【考察】

健康寿命の延伸と健康格差の縮小の指標である<総合的成果を図る指標>は、目標を達成している。  
 <取り組み成果を図る指標>では、悪化している項目がある。特に生活習慣病の発症予防と重症化予防に力をいれていく必要がある。これまで実施してきた生活習慣病の重症化予防事業である個人への保健指導と併せて、積み上げたデータから悪化している年代・傾向・項目を分析し、ターゲットを絞った取り組みの検討を進める。  
 (令和2年度は、新型コロナウイルスの影響から勤務形態が変わるなど生活環境の変化が考えられること、また、健診の受診率も低いため、例年と傾向が異なる可能性を含むため単純比較は注意が必要)

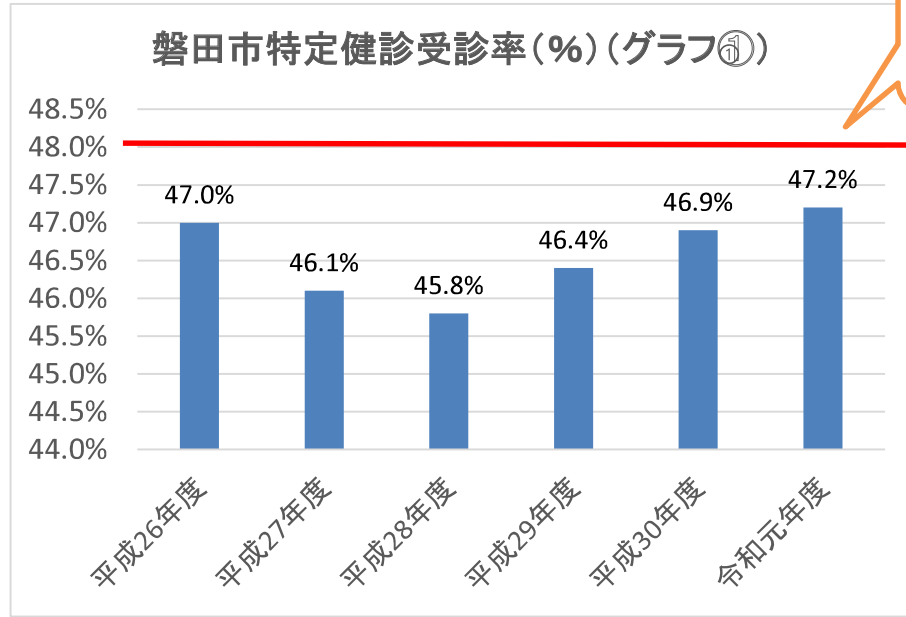
# 健幸いわた21重点課題 令和3年度の取り組み

資料1-2

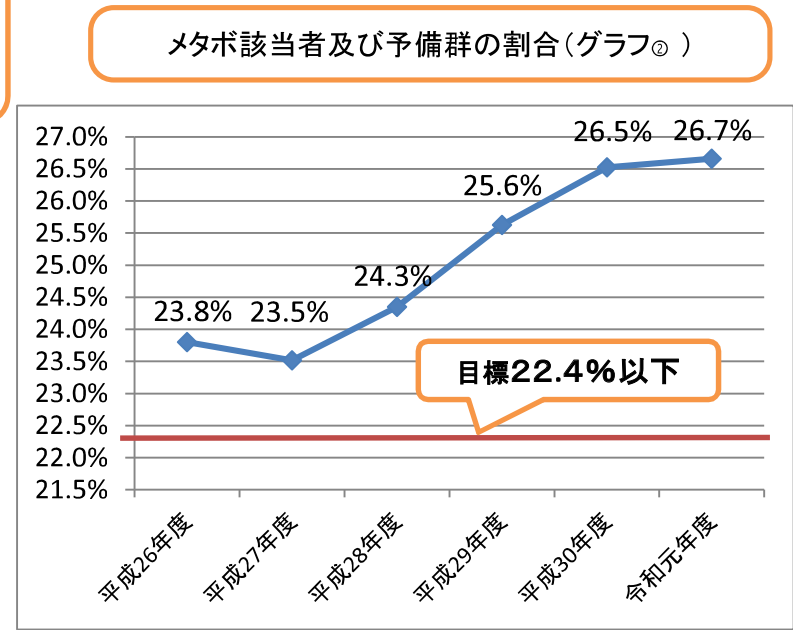
健康寿命の延伸	令和3年度の取り組み
保健事業と介護予防の一体化	<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業を最優先事業として実施しており、医療と介護のデータ分析による健康課題の把握と、個別指導等の健康支援は現時点で延期しているが、地域包括支援センターの協力を得て、健康状態不明者の把握を実施していく。コロナの長引く自粛生活による健康二次被害が危惧されるため、市民へワクチン接種時等の機会をとおしてフレイル予防の普及啓発を行っていく。</p>
まちの保健室 (健幸いわた21 P11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちの保健室」は現在コロナの影響で中止している。健康相談は地区担当保健師栄養士が個別に対応している。</li> <li>・「出張まちの保健室」は、昨年度からの企業(2社)で実施し今年度も継続していく。(健康経営)また、中央図書館で働きざかりの健康づくりを目的に、子育て世代をターゲットに健康情報の発信を行っていく。</li> <li>・「WEB版まちの保健室」をホームページに掲示し、年間4回更新する予定。</li> </ul>
生活習慣病の重症化予防	令和3年度の取り組み
健康診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して健康診断を受けてもらうため、新型コロナウイルス感染症対策をして実施していく。(密を避けるため、時間帯予約の全面实施)</li> <li>・がん検診受診率向上のため、検診期間の延長・受診しやすい体制(レディースデイ・イブニング検診)を引き続き実施する。</li> <li>・開業医や専門医と連携し、糖尿病の重症化予防をすすめていくとともに、訪問指導や受診勧奨を行っていく。</li> </ul>
こころの健康	令和3年度の取り組み
相談・啓発の強化 (健幸いわた21 P17~19参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内で自殺対策に向けて各部署で行っている取組みを整理し、切れ目がない支援を目指していく。</li> <li>・民生委員児童委員等に向けたゲートキーパー研修を今秋以降に再開していく。</li> <li>・自殺者に対する経年的なデータを分析し、効果的なアプローチにつなげる。</li> </ul>
生活習慣の改善	令和3年度の取り組み
ベジファースト 食育啓発 (参考資料○)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期からのベジ・ファースト定着を目指して、公立幼稚園、こども園、保育園における給食時のあいさつ「いただきます お箸をもったら 野菜から」の継続と、小中学校への浸透に向けた連携を図る。</li> <li>・企業における健康支援活動(健康経営)の効果を図り、今後の取組み拡大につなげていく。</li> <li>・食育月間(6月)に、コンビニやドラッグストアなど店舗を通じた市民啓発を展開した。働き盛り世代へのベジ・ファースト推進を強化していく。</li> </ul>
たのしっぺい♪健幸チャレンジ (参考資料○)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジシートに、多彩な健康づくりの取組ができるようWEB版まちの保健室の紹介取り入れた。</li> <li>・健康経営の取組みで企業への事業周知や、健康アンバサダーを通じて、事業への参加を促した。</li> <li>・健康講座や自治会等様々な機会での事業の周知を実施していく。</li> </ul>

健幸いわた進捗状況

～重症化予防の目標値 年次推移～



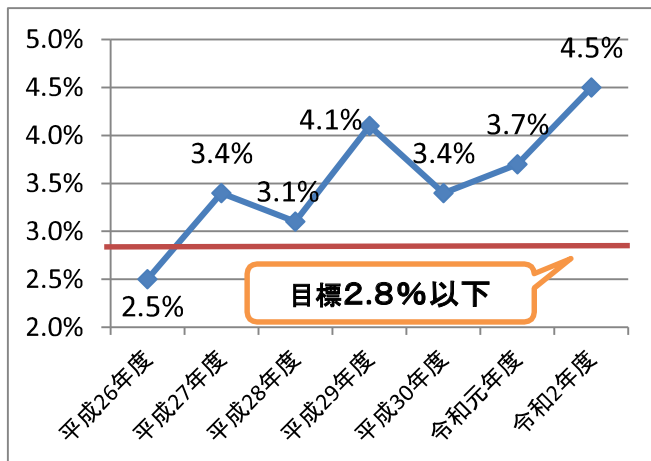
令和元年度目標  
**48%**



目標**22.4%以下**

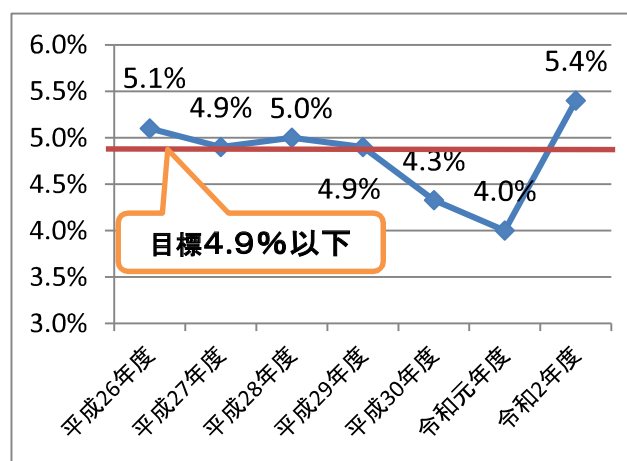
※ グラフ①と②の令和2年度の割合はR3年11月に公表される(法定報告)

★ 高血圧Ⅱ度以上の者の割合



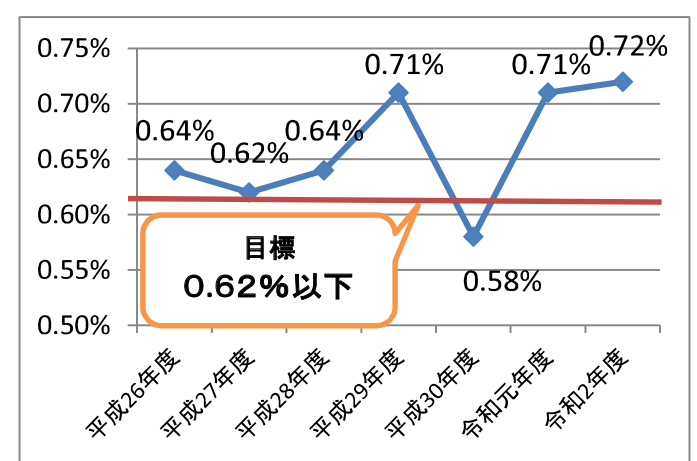
目標**2.8%以下**

★ LDLコレステロール180以上の者の割合



目標**4.9%以下**

★ HbA1c8.4以上の者の割合



目標  
**0.62%以下**

重症化予防事業の効果検証 (血糖値HbA1cの変化)

平成30年度の特定健診で重症化予防事業で保健指導をした者(\*)は364人でした。その者のうち、次年度(令和元年度)に特定健診を受けた者は280人でした。次年度のHbA1c検査結果の変化(改善や悪化など)を下記にまとめてみました。

\* 保健指導対象者 HbA1c6.5以上(70歳以上はHbA1c7.0以上)の糖尿病治療をしていない人

【考察】

CKD(腎機能)の重症度分類で保健指導が優先される人

- ・ HbA1c 8.0以上の割合が平成30年度5.0%から平成元年度6.1%と増えている。(表1)今後も悪化を防ぎ改善に向けての支援が重要となる。
- ・ 平成30年度の保健指導の翌年(令和元年度)に改善した者の割合は17.9%で、悪化した者の割合は12.1%だった。(表2)
- ・ HbA1c 6.4以下の者の割合は令和元年度には49.3%から58.27%に増えている。(グラフ1)

(人)

表 1		令和元年度健診結果				合計	割合
【HbA1c値】		6.4以下	6.5~6.9	7.0~7.9	8.0以上		
平成30年度 健診結果	6.4以下	125	9	4	0	138	49.3%
	6.5~6.9	28	42	11	0	81	28.9%
	7.0~7.9	8	7	22	10	47	16.8%
	8.0以上	2	2	3	7	14	5.0%
合計		163	60	40	17	280	100.0%
割合		58.2%	21.4%	14.3%	6.1%		100.0%

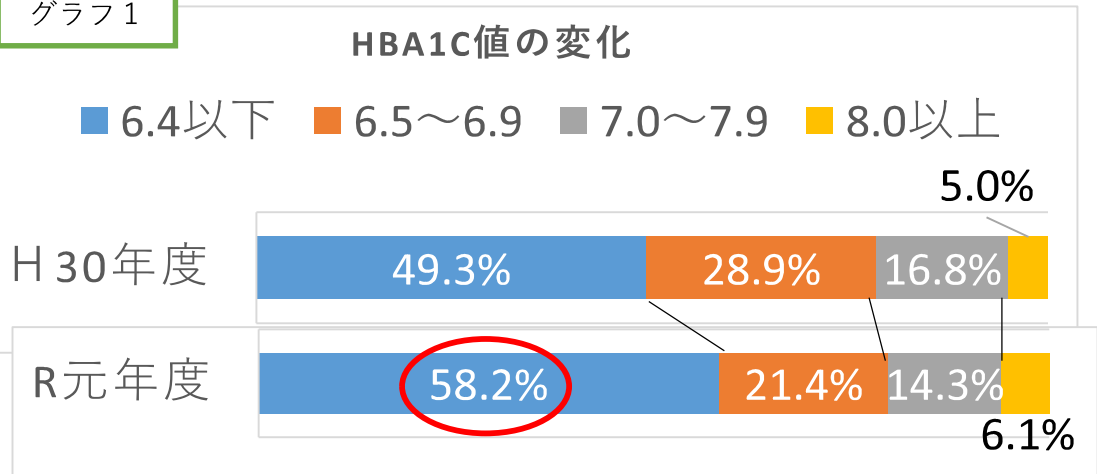
平成30年度の健診でHbA1cが6.5~6.9だった者28人が、保健指導の結果、令和元年度にはHbA1cが6.4以下になった。その為、グラフ1 平成元年度のHbA1c 6.4以下の割合が58.2%と多くなった。

表 2

【HbA1c値の変化】翌年(令和元年度)の値

	人	割合
改善	50	17.9%
不変	196	70.0%
悪化	34	12.1%
	280	100.0%

グラフ 1



## 磐田市 食育月間の取組み

提出都道府県名 政令指定都市名	静岡県
取組市町村名 取組団体・企業名	株式会社 杏林堂薬局 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 磐田市
取組の名称	<b>いただきます お箸をもったら 野菜から</b> ～民間企業×磐田市 コラボでベジ・ファーストの推進～
実施時期	令和3年6月25日（金）～8月31日（火）
取組内容	<p><b>【目的】</b></p> <p>働き盛り世代のベジ・ファーストの定着を目指し「いただきます お箸をもったら 野菜から」をスローガンに掲げ、(株)杏林堂薬局と(株)セブン-イレブン・ジャパンと協働で、店舗内啓発を行いました。</p> <p><b>【場所】</b></p> <p>(株)杏林堂薬局 市内4店舗（上岡田店・西貝塚店・鳥之瀬店・小立野店） (株)セブン-イレブン・ジャパン 市内全29店舗</p> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「いただきます お箸をもったら 野菜から」のPOPを売り場に掲示</li> <li>●(株)杏林堂薬局では、ベジ・ファーストにつながる野菜たっぷりレシピを配布し、調理動画を市公式 Youtube にて公開</li> </ul> <p>市イメージキャラクター「しっぺい」と野菜を組み合わせたPOPを、野菜売り場や惣菜コーナーに掲示し、商品を手にとった時に目にとまるよう工夫しました。</p> <p>ベジ・ファーストの実践につながるよう、POPや動画など多方面からのアプローチを行いました。</p>





いただきます！

おはしをもったら **野菜** から

- 🍅 野菜の食物繊維が血糖値の急上昇を抑えるよ！
- 🍅 生活習慣病と肥満の予防になるよ！



キノコや海藻からでもOKです♪

